

各位

会社名 シェアリングテクノロジー株式会社
 代表者名 代表取締役 CEO 森吉 寛裕
 (コード: 3989 東証マザーズ)
 問合せ先 管理部 長 矢野 悟
 (TEL. 052-414-6025)

減損損失・固定資産除却損の計上及び 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

シェアリングテクノロジー株式会社（以下：シェアテック）は、2021年9月期において、減損損失及び固定資産除却損を計上するとともに、2021年8月13日に公表いたしました2021年9月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 減損損失・固定資産除却損の内容

のれん及び無形固定資産等について、直近の業績の動向を踏まえ、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失918百万円を計上いたしました。また、将来の使用見込みがなくなったソフトウェアを除却した結果、固定資産除却損59百万円を計上いたしました。なお、上記損失はIFRSの規定により営業損失として計上されるため、合計978百万円の損失が営業利益以下全ての利益に影響します。

2. 通期連結業績予想と実績値との差異について

2021年9月期の通期連結業績予想数値と実績値との差異
 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益(円)
前回発表予想 (A)	3,400	—	—	—	—	—
実績値 (B)	3,531	△1,130	△1,151	△1,119	△1,119	△51.83
増減額 (B-A)	131	—	—	—	—	—
増減率 (%)	3.9	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	3,987	364	329	△1,156	△1,181	△61.76

3. 差異が生じた理由

売上収益は、2021年8月13日に発表した通期業績予想にて、3,400百万円と発表しておりましたが、一部ジャンルにおいて施策の成果が着実に表れてきており、前回予想を上回り、3,531百万円となりました。

営業損益は、資産の評価減等を除くと、200百万円程度の営業損失を見込んでおりましたが、当該数値については売上収益が予想を上回ったことなどから152百万円の営業損失となりました。それに加えて、上記のれん及び無形固定資産等の減損損失・固定資産除却損の計上により1,130百万円の営業損失となり、税引前利益は、1,151百万円の税引前損失となりました。

4. 今後の見通し

上記の減損損失・固定資産除却損の計上は、本日公表の2021年9月期の連結業績に反映しております。なお、主にこの影響により2022年9月期の減価償却費は、2021年9月期の減価償却費502百万円から200百万円程度減少する見込みです。

以 上